



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	45,586	△7.5	1,316	22.4	1,673	22.7	1,275	20.8
2025年3月期	49,267	4.0	1,076	54.1	1,363	49.3	1,055	40.9

(注) 包括利益 2026年3月期 2,191百万円(139.5%) 2025年3月期 915百万円(△34.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	153.70	—	10.1	6.0	2.9
2025年3月期	123.42	—	9.2	4.8	2.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 53百万円 2025年3月期 57百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	28,236	13,568	48.1	1,661.53
2025年3月期	27,632	11,791	42.7	1,395.72

(参考) 自己資本 2026年3月期 13,568百万円 2025年3月期 11,791百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	714	△638	△1,273	1,951
2025年3月期	1,114	885	△1,355	3,146

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	25.00	25.00	211	20.3	1.9
2026年3月期	—	—	—	43.00	43.00	351	28.0	2.8
2027年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00		30.6	

(注) 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	48,500	6.4	1,000	△24.1	1,200	△28.3	1,200	△5.9	146.95

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	8,910,000株	2025年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	743,759株	2025年3月期	461,596株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	8,298,116株	2025年3月期	8,555,375株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 18
(重要な後発事象)	P. 18
4. その他	P. 19
役員の異動	P. 19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかな回復が続いております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高止まり、物価上昇による消費の押し下げなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループでは2024年4月にHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」（2025年3月期～2026年3月期）を策定いたしました。それまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより455億86百万円（前期比7.5%減少）となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績改善などにより、営業利益は13億16百万円（前期比22.4%増加）、経常利益は16億73百万円（前期比22.7%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億75百万円（前期比20.8%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性素材におきましては、ヒシエキスの国内向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

加工食品におきましては、レトルト商品の取り扱い量を減らしたことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、豚肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は224億17百万円（前期比0.1%増加）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績改善などにより、セグメント利益（営業利益）は8億46百万円（前期比82.7%増加）となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は231億63百万円（前期比13.7%減少）となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量が減少したことにより、セグメント利益（営業利益）は15億41百万円（前期比7.2%減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は282億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3百万円増加しました。流動資産の減少(前期末比4億44百万円減少)は、主に売掛金が10億17百万円増加したものの、現金及び預金が11億94百万円、その他に含まれる未収消費税等が4億57百万円減少したことなどによるものであり、固定資産の増加(前期末比10億48百万円増加)は、主に投資有価証券が10億75百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は146億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億72百万円減少しました。流動負債の減少(前期末比8億33百万円減少)は、主に未払法人税等が3億52百万円、契約負債が2億28百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少(前期末比3億39百万円減少)は、主に長期借入金が3億62百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は135億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億76百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を12億75百万円計上したことや、その他有価証券評価差額金の増加が7億51百万円あったことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ11億94百万円減少の19億51百万円(前期末比38.0%減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は7億14百万円(前期は11億14百万円の増加)となりました。これは主に売上債権の増加額が12億71百万円、棚卸資産の増加額が3億3百万円あったものの、税金等調整前当期純利益16億93百万円や減価償却費8億43百万円の計上があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は6億38百万円(前期は8億85百万円の増加)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が1億44百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が5億54百万円、無形固定資産の取得による支出が2億5百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は12億73百万円(前期は13億55百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が6億16百万円、リース債務の返済による支出が3億52百万円あったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	37.1	38.2	42.7	48.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	15.5	17.1	15.0	26.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	△33.4	2.6	7.5	11.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	△2.8	34.7	11.2	6.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高止まりに加え、為替相場の不安定な展開も見込まれることから、当社グループを取り巻く経営環境は厳しいものになると予想されます。

こうしたなか、本年4月から、新たな【中期経営計画Challenge2028（2027年3月期～2028年3月期）】を策定いたしました。これまでの財務健全化を踏まえ、資本コストをより強く意識した経営へ深化させ、事業ポートフォリオの「選択と集中」を通じて、「株主還元の強化」、「収益性（ROIC）向上」、「人的資本投資強化」の3つの重点戦略を推進し、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

次期連結会計年度の見通しにつきましては、売上高は485億円（前期比6.4%増加）、営業利益は10億円（前期比24.1%減少）、経常利益は12億円（前期比28.3%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億円（前期比5.9%減少）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、今後のIFRS（国際財務報告基準）については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	1,961
受取手形	76	70
売掛金	4,500	5,518
商品及び製品	1,983	1,970
仕掛品	2,234	2,234
原材料及び貯蔵品	2,163	2,479
その他	1,211	647
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	15,325	14,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,053	13,135
減価償却累計額	△10,432	△10,620
建物及び構築物（純額）	2,621	2,514
機械装置及び運搬具	7,575	7,503
減価償却累計額	△6,745	△6,576
機械装置及び運搬具（純額）	829	926
土地	1,798	1,800
リース資産	3,170	3,232
減価償却累計額	△1,726	△1,796
リース資産（純額）	1,443	1,435
その他	832	974
減価償却累計額	△648	△690
その他（純額）	184	284
有形固定資産合計	6,877	6,961
無形固定資産	453	534
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	5,362
破産更生債権等	1,154	1,180
繰延税金資産	334	159
その他	117	144
貸倒引当金	△916	△986
投資その他の資産合計	4,976	5,860
固定資産合計	12,307	13,355
資産合計	27,632	28,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,527	2,547
短期借入金	4,906	4,774
未払金	1,653	1,444
リース債務	375	393
未払法人税等	490	137
契約負債	309	81
賞与引当金	170	182
その他	231	272
流動負債合計	10,665	9,832
固定負債		
長期借入金	1,820	1,457
リース債務	1,309	1,306
退職給付に係る負債	1,878	1,669
繰延税金負債	—	229
その他	167	171
固定負債合計	5,175	4,835
負債合計	15,841	14,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	3
利益剰余金	7,252	8,316
自己株式	△246	△449
株主資本合計	10,424	11,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,366	2,117
繰延ヘッジ損益	△2	5
退職給付に係る調整累計額	2	160
その他の包括利益累計額合計	1,367	2,283
純資産合計	11,791	13,568
負債純資産合計	27,632	28,236

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	49,267	45,586
売上原価	43,605	39,448
売上総利益	5,662	6,138
販売費及び一般管理費	4,586	4,821
営業利益	1,076	1,316
営業外収益		
受取配当金	125	124
持分法による投資利益	57	53
補助金収入	41	118
その他	190	191
営業外収益合計	414	487
営業外費用		
支払利息	98	103
その他	28	27
営業外費用合計	126	131
経常利益	1,363	1,673
特別利益		
投資有価証券売却益	432	87
その他	5	0
特別利益合計	437	87
特別損失		
固定資産除却損	3	26
減損損失	136	41
特別損失合計	139	67
税金等調整前当期純利益	1,662	1,693
法人税、住民税及び事業税	625	424
法人税等調整額	△19	△6
法人税等合計	606	417
当期純利益	1,055	1,275
親会社株主に帰属する当期純利益	1,055	1,275

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,055	1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133	736
繰延ヘッジ損益	△1	7
退職給付に係る調整額	△6	157
持分法適用会社に対する持分相当額	0	14
その他の包括利益合計	△140	916
包括利益	915	2,191
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	915	2,191

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415	2	6,327	△159	9,585
当期変動額					
剰余金の配当			△129		△129
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,055		1,055
自己株式の取得				△97	△97
自己株式の処分		△1		11	10
自己株式処分差損の振替		1	△1		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	925	△86	839
当期末残高	3,415	2	7,252	△246	10,424

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,499	△0	9	1,508	11,093
当期変動額					
剰余金の配当					△129
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,055
自己株式の取得					△97
自己株式の処分					10
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△132	△1	△6	△140	△140
当期変動額合計	△132	△1	△6	△140	698
当期末残高	1,366	△2	2	1,367	11,791

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415	2	7,252	△246	10,424
当期変動額					
剰余金の配当			△211		△211
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,275		1,275
自己株式の取得				△215	△215
自己株式の処分		0		11	11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	1,064	△203	860
当期末残高	3,415	3	8,316	△449	11,284

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,366	△2	2	1,367	11,791
当期変動額					
剰余金の配当					△211
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,275
自己株式の取得					△215
自己株式の処分					11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	751	7	157	916	916
当期変動額合計	751	7	157	916	1,776
当期末残高	2,117	5	160	2,283	13,568

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,662	1,693
減価償却費	786	843
のれん償却額	10	24
持分法による投資損益 (△は益)	△57	△53
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△0
固定資産除却損	3	26
減損損失	136	41
株式報酬費用	11	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△432	△87
補助金収入	△41	△118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	70
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	21
受取利息及び受取配当金	△126	△127
保険解約返戻金	3	—
支払利息	98	103
為替差損益 (△は益)	△0	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	1,759	△1,271
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△73	△303
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,734	147
未払金の増減額 (△は減少)	△60	△182
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△358	457
未収入金の増減額 (△は増加)	18	△0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3	14
その他	△97	17
小計	1,455	1,336
利息及び配当金の受取額	136	139
補助金の受取額	41	118
利息の支払額	△99	△104
法人税等の支払額	△419	△774
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114	714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△345	△554
有形固定資産の売却による収入	1,398	3
無形固定資産の取得による支出	△53	△205
事業譲受による支出	△643	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	520	144
保険積立金の払戻による収入	20	—
その他	△8	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	885	△638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,010	△30
長期借入れによる収入	849	152
長期借入金の返済による支出	△615	△616
リース債務の返済による支出	△352	△352
配当金の支払額	△128	△210
自己株式の取得による支出	△97	△215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,355	△1,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	644	△1,194
現金及び現金同等物の期首残高	2,501	3,146
現金及び現金同等物の期末残高	3,146	1,951

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

6社

連結子会社の名称

キリシマドリームファーム株式会社

林兼フーズ株式会社

都城ウエルネスミート株式会社

有限会社平安海産

有限会社桜林養鰻

太幸物産株式会社

2 持分法の適用に関する事項

持分法を適用した関連会社数

2社

会社等の名称

林兼冷蔵株式会社、志布志飼料株式会社

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主に当社の各事業部が取り扱う商品及び製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、当社の事業部を基礎とした商品及び製品別セグメントから構成されており、「食品事業」及び「飼料事業」の2つを報告セグメントとしております。

「食品事業」は機能性素材、加工食品、肉類等の製造・仕入販売を行っております。「飼料事業」は配合飼料、水産物等の製造・仕入販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,399	26,830	49,229	38	49,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1,575	1,576	—	1,576
計	22,400	28,405	50,805	38	50,844
セグメント利益	463	1,661	2,124	27	2,152
セグメント資産	9,648	9,657	19,305	61	19,367
その他の項目					
減価償却費	481	242	724	1	725
のれんの償却額	—	10	10	—	10
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	351	755	1,106	—	1,106

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,417	23,163	45,581	5	45,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1,536	1,539	—	1,539
計	22,420	24,699	47,120	5	47,125
セグメント利益	846	1,541	2,387	3	2,391
セグメント資産	9,427	10,901	20,328	60	20,389
その他の項目					
減価償却費	494	275	770	0	770
のれんの償却額	—	24	24	—	24
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	226	719	945	—	945

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	50,805	47,120
「その他」の区分の売上高	38	5
セグメント間取引消去	△1,576	△1,539
連結財務諸表の売上高	49,267	45,586

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,124	2,387
「その他」の区分の利益	27	3
セグメント間取引消去	67	54
全社費用(注)	△1,143	△1,128
連結財務諸表の営業利益	1,076	1,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,305	20,328
「その他」の区分の資産	61	60
全社資産(注)	8,265	7,847
連結財務諸表の資産合計	27,632	28,236

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない林兼産業株式会社本社の土地及び建物です。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	724	770	1	0	60	72	786	843
のれん償却額	10	24	—	—	—	—	10	24
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,106	945	—	—	233	154	1,339	1,100

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に林兼産業株式会社のソフトウェアに係る投資額です。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
40,724	8,132	411	49,267

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
青島天乙吉星国際貿易有限公司	7,675	飼料事業
Umios株式会社(旧称：マルハニチロ株式会社)	5,679	食品事業、飼料事業
株式会社兵殖	5,421	飼料事業

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Umios株式会社(旧称：マルハニチロ株式会社)	5,456	食品事業、飼料事業
株式会社兵殖	4,665	飼料事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	食品事業	飼料事業	計			
減損損失	136	—	136	—	—	136

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	食品事業	飼料事業	計			
減損損失	41	—	41	—	—	41

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	食品事業	飼料事業	計			
当期償却額	—	10	10	—	—	10
当期末残高	—	234	234	—	—	234

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	食品事業	飼料事業	計			
当期償却額	—	24	24	—	—	24
当期末残高	—	210	210	—	—	210

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,395円72銭	1,661円53銭
1株当たり当期純利益	123円42銭	153円70銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,055	1,275
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,055	1,275
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,555	8,298

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動
該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2026年6月26日付予定) ※2026年4月13日開示済み

①新任取締役(監査等委員である取締役を除く。)候補
常務取締役 事業統括本部副本部長 児玉 哲朗(こだま てつろう)
(現 顧問)

②退任予定取締役

安部 克彦(あべ かつひこ)
(現 取締役 事業統括本部
食品事業部副事業部長)

鈴田 修士(すずた しゅうじ)
(現 取締役 経営管理本部副本部長)

以上